

午後は北へ徒歩約15分の興福院（こんぶいん）へと向かいました。奈良時代の創建ですが、中世に罹災等で衰微し、その後、住職を務めた何人もの尼僧の方々が、豊臣家や徳川家などその時々の権力者の庇護を受けながら再興をはかり、今は浄土宗知恩院の所轄の尼寺となっています。こちらは普段は非公開で、拝観できる秋の紅葉シーズンにはまだ間があったのですが、奈良支部のお骨折りで特別に拝観ができませんでした。



本堂の阿弥陀三尊像は奈良時代後期作の神々しいお姿で、江戸時代に建立された客殿とともに国の重要文化財です。しっとりとした佇まいの境内には四季折々の花が植えられ、生け花にも使われています。別棟の奥ゆかしい茶室も見せていただきました。高台にある本堂を出たところからは奈良の街並みが見下ろせて、こんなに近いところなのに、別世界にいるような境地になれることに我ながら驚きました。客殿にもどっていただいたお菓子のおいしかったこと。おはぎをハランの葉で包み、色づき始めたもみじの小枝が添えられていて、手作りならではの気配りに感動しました。

二ヶ寺ともご住職の心温まるお話をお聞きできたことや、奈良支部の皆様への細やかな心遣いに感謝しながら、今回は滋賀支部が第24回の佐保塾史跡めぐりを引き継ぐこととなり、身の引き締まる思いです。 山仲 幸 (S53 家食)



★★★★ 情報提供のお願い ★★★★★

滋賀支部が担当する令和6年度の共催佐保塾史跡めぐりの行き先について、支部役員でいろいろ検討しているところです。前回担当時は貸し切りバスで湖南三山めぐりをしました。

例年ですと、11月の平日開催、参加者は40～50人規模、昼食付で会費はおひとり5000円、現地集合でそこから約5kmくらいなら徒歩で移動、10時集合、15時解散といったところです。

今回は今のところ公共交通機関を利用し、

- ①坂本ケーブルと比叡山延暦寺
- ②紫式部ゆかりの石山寺と三井寺
- ③近江八幡の八幡堀周辺と村雲御所
- ④彦根城と彦根城博物館

といったところが候補としてあがっています。この周辺の見どころや11月の特別拝観、説明して下さる講師、お食事場所など、会員の皆様からお心当たりを情報提供いただければ大変ありがたく存じます。また、これ以外にも、是非推薦したい見学先等がございましたら、併せてお知らせください。これからの検討の参考にさせていただきたいと思っております。

連絡は封筒に記載の滋賀支部長山仲まで、メールまたはハガキ等でお願ひします。

★★★★ 本年度の会費納入のお願い ★★★★★

いつも会費納入にご協力ありがとうございます。今回は未納の方への振込用紙を同封していませんが、今年度の会費納入がまだの方は、下記のゆうちょ銀行の口座へ振込をお願いします。

ゆうちょ銀行からは、佐保会滋賀支部振替口座 01040-1-60804

他の金融機関からは、店名一〇九（いちぜろきゅう）店番109 当座預金口座番号 0060804

本部会費1500円については、昭和38年以前卒業の方の納入は任意（定款が変わりました）。

令和2年以降卒業の方は免除です。

支部会費1000円については、卒業年度に関係なく皆様をお願いしております。

従いまして、原則2500円、一部の方は1000円の振込となります。よろしくお願ひします。



奈良女子大学同窓会佐保会

滋賀支部だより

2024年2月22日
佐保会滋賀支部
会員数 415名

支部会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

6月には支部総会、10月、11月には南尊演先生を講師にお迎えしておうみ佐保塾講演会を実施し、参加者に大変好評をいただきました。また、9月の（一社）佐保会代議員会・総会、11月の共催佐保塾（奈良）にも参加してきたところです。

次回の本部との共催佐保塾史跡めぐりは、輪番で滋賀支部が担当することとなります。皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



《次期総会のお知らせ》

次期総会について下記のとおり計画を進めていますのでお知らせします。ご予約くださいませ。土曜日開催で会場が草津に変わりますのでご留意を。なお、詳細は改めてご案内いたします。

日時：令和6年（2024年）6月8日（土）10時30分から

会場：ポストプラザ草津 *今年度は草津駅前、徒歩1分のホテルになります。

会費：昼食付は、おひとり5,500円。当日徴収

講師：調整中

★★★★ おうみ佐保塾 ★★★★★

第26回 10月19日（木）【滋賀県の生物多様性と「高校生物」】～植物編～

第27回 11月16日（木）【滋賀県の生物多様性と「高校生物」】～昆虫編～

一般社団法人として社会貢献をする為にスタートした『おうみ佐保塾』を、皆様のお陰をもち



まして今年度も無事に開催できました。講師は、大学院で昆虫学を研究され、高校理科教育に永年尽くされた南尊演（みなみ・たかのぶ）先生です。二回とも、それぞれご自身が撮影されたたくさんの写真と共にご講義いただきました。

実のところ私は虫が苦手で、諸事情により報告記事を書く担当になった事に一抹の恐怖感を抱いていたのです。植物編はまだいいが、昆虫編



イブキフウロ

に耐えられるだろうか、と。

植物編では、スクリーンに美しい花々の写真が次々に映し出され、一気に講義に引き込まれました。伊吹山には固有種の植物があること、山門湿原にあるブナは他の地域のブナより低標高な場所に生息していること、その他、滋賀の自然の固有性や貴重さを知る事が出来、自分が住ん



イブキジャコウソウ

でいる県を大切にしたいという気持ちが増しました。

歴史好きの私が一番唸らされたのは、キバナノレンリソウのエピソードです。かの織田信長が欧州から薬草を取り寄せて伊吹山の薬草園に植えさせた事により伊吹山に棲みついたのだろう、と言われている帰化植物とのこと。欧州では広く分布するも日本では局地的な種だそうで、開花期に見に行こうと心に決めました。



キバナノレンリソウ



コマルハナバチ



オオスカシバ



ベニジミ



マイコアカネ

さて、いよいよ昆虫編です。最初に学名の付け方を教わりながらもちょっとドキドキ。ところが。アリは羽を失ったハチです、って？そしてスクリーンに登場したマルハナバチ達の可愛いこと！英語の絵本に頻繁に登場する Bumblebee (マルハナバチ) が日本、どこか我が県にいるとは、今まで知りませんでした。私が最も恐ろしいと思っていた寄生蜂が人を刺さないことや、てっきりハチの仲間だと思い込んでいたオオスカシバが蛾の仲間、やはり人を刺さないことを知って、私の恐怖感は急速にしぼんで行きました。

「知は力なり」という言葉が脳裏をよぎります。知らなかったから無闇に怖かったものが、知ることによって怖くなくなった……「学ぶ」って大事だなあ、と嬉しくなりました。

さて、この原稿を書くに際し、ネット上の植物や昆虫の写真も参照してみて感じたのですが、南先生が撮影された写真の方が美しく、可愛く、怖くないのです。それは、被写体に対する先生の愛情の賜物なのかなあと思いました。「お城愛」に溢れる城郭考古学者や「魚愛」に溢れる魚類学者のテレビ番組がとても楽しい様に、南先生の講義も大変楽しかったです。先生、有難うございました。

高原早苗 (S60 文社)



★★★★ 一般社団法人佐保会第 12 回代議員定時総会・同窓会佐保会第 12 回総会 ★★★★★

微かに秋の気配が忍び寄って来た 9 月 24 日 (日)、奈良ホテルにて、代議員定時総会と同窓会総会が開催されました。過去二回はオンライン参加をさせていただいた私にとって、初の対面参加。少々緊張しながら、晴天の奈良町を歩いて会場に向かいました。

懐かしい奈良での母校の集い、気持ちが女子大生時代に戻るのでしょうか。皆様の若々しく華やかな空気に包まれて、あっというまにリラックス、他支部の方々と情報交換をしながら開会を待ちました。

代議員総会での一番大きな議題は一億六千万円を超える決算報告です。多岐にわたる管理状況をご説明いただき、その大任を果たして下さっている皆様に敬意と深い感謝の念を抱きました。決して楽ではない実情を知り、支部の地区委員として出来る事は会費納入を増やす努力をする事であると改めて思いました。その為には、魅力があり参加しやすい支部活動を立案・運営せねばなりません。支部会員の皆様、どうぞご提案やご助言をお寄せくださいませ。よろしくお願いたします。

「大和の間」へと場所を移しての同窓会総会は益々華やかで、美味しい昼食をいただきながら、

初めてお目にかかった人同士とは思えない楽しい会話が弾みました。ミニ講演会は中尾真理氏 (S47 文英) による「バラの文化史」。短く濃縮された素晴らしい講演でした。英国で尊重されてきたバラは、実は見かけの美しさではなく匂いの良さが重要であり、女性とバラの絵では匂いを嗅いでいる図柄が多い……という事に感嘆いたしました。



新任支部長様方からのご挨拶もあり、各支部とも、それぞれの県の地理的特徴や会員数に応じて工夫をされているのだなあ、と良い刺激をいただきました。

支部会員様の中には、一度も総会に出席された事が無い方もおられるかと思いますが、私は初めて出席してみても楽しかったので、お友達と誘い合わせてでもお一人でも、ご出席をご検討いただけたらと存じます。同じ大学で学んだというだけで、時期や学部学科が違っても、こんなにお話が弾むなんて、佐保会って凄いです。気持ちが若返って元気に帰途につきました。

高原早苗 (S60 文社)

★★★ 第 23 回 佐保塾 史跡巡り

「佐保路の女性たち 法華寺・興福院を訪ねて」に参加して ★★★

共催佐保塾は奈良支部担当で、11 月 10 日 (金) に開催されました。近畿各地から 43 名が参加。滋賀支部からは、浅野さん、和田さん、高原さん、山岡さんと山仲の 5 名が、次年度の担当支部としての下見をかねて参加しました。

近鉄新大宮駅に 9 : 30 集合。あいにくの雨模様とあって、レインコートやヤッケ姿が目立ちます。受付の後、最初の訪問先、法華寺に向けて散策に出発しました。



街中の道を約 40 分歩いて、光明皇后ゆかりの法華寺に到着。奈良



時代、聖武天皇の後であった光明皇后の発願で建立され、総国分尼寺として 1200 年以上の歴史のある古刹です。

広々とした境内に、いくつもの建物がどっしりと構え、静謐な中に荘厳さが漂っています。ちょうど秋の特別拝観期間中で、本堂では御本尊の国宝十一面観音菩薩立像、慈光殿では日本最大級の国宝絹本阿

弥陀三尊及童子像三幅を拝観することができました。

次に、昼食会場のホテルリガーレまで一路、東へと歩きました。不退寺の近くを通った時には、2 年前に支部役員で訪れて支部だよりでレポートしたことを懐かしく思い出しました。



ホテルに着いて、野口理事長のご挨拶などをお聞きして、さて、楽しみにしていた古代食です。奈良女子大学生がレシピを考案し、ホテルリガーレの総料理長が現代風にアレンジして商品化されたメニューで、古事記などの文献を参考に奈良時代に食べられていたと考えられる食材を使用しているとのこと。おしながきには、食材と古代食との関



連が細かく記されていました。メインはイワシのハンバーグでしたが、他にも大和まなやサトイモ、タコ、シジミ、エビ、めかぶなどが使われて彩りよく、万葉の時代の食文化が感じられる優しい味付けでした。変わってデザートはガトーショコラのケーキとフルーツの盛り合わせで、とてもゴージャスで満足度の高いメニューを堪能しました。